

# ファーマーズ&キッズに参加

# いしかわ 農業法人だより

Ishikawa  
Agriculture  
Corporation  
Magazin

石川県農業法人協会も出展した「Farm Love with ファーマーズ&キッズフェスタ2022」は、11月12日（土）・13日（日）に日比谷公園噴水広場・芝生広場で開催されました。

出店者数41、出店テント数56（キッチンカー含む）、ステージコンテンツ数7（延べステージ回数11）、その他大型農機展示・乗車体験、スタンプラリー、収穫体験等の各種ワークショップの実施がありました。農業者や協賛企業による販売では、売り切れるブースも多くなりました。また、多種多様なステージ企画も大人気で、参加型の企画が盛りだくさんでした。スタンプラリーでは、食の安全性について楽しく学ぶ姿が見られました。芝生広場に集まった子供達がアンパンマンショーを楽しみに会場は活気に包まれておりました！プロ農業者の気分を味わえるトラクター、田植機、コンバインの乗車体験も人気を集めていました。

当日の天気は、12日（土）が天気・晴れ、最高気温・21.8度、13日（日）が天気・曇り時々雨、最高気温・24度とほぼ穏やかな天候に恵まれました。来場者数は、12日（土）が4500人、13日（日）が6570人で2日間合計11070人でした。

石川県のブースでは、1日目に佛田会長と井村特別理事に参加頂き、事務局の吉田さん、連さんにお手伝い頂きました。二日目は、佛田会長に事務局の工藤さん、石川県東京事務所の廣田さんにお手伝いを頂きました。コロナ対策で入場制限を中学生以上3000円の入場料を頂いたにもかかわらず、大変な盛況でした。

石川県農業法人協会としてPRを目的とした参加しましたが、約10社の会員法人にご協力頂き、販売と試食を行いました。石川県にゆかりのある方や子供連れの方も多く、ジュースやかきもちおせんべいといった子供向けのものが大変好評でした。



イベントは、実際に行ってみないとわからないことや天候や季節にも左右されますから、難しい部分もありますが、事務局の丁寧な準備と当日の働きに大変助けられた感じます。今回、いろいろと協力ご尽力頂いた方々にはありがとうございました。また、今回出品参加されなかった方々には、次回よろしくお願ひします。当日は、協賛イベントとして鹿児島県農業法人協会も鹿児島県同様なイベントを展開しているということで、日本農業法人協会としては今後ほかの都道府県にも連携をしたい意向のようです。石川県農業法人協会として、このようなイベントが開催できるといいのですが、また、何が出来るか皆さんと相談してゆきたいと思えます。ありがとうございます。

会長 佛田利弘



# 副会長コラム

今回から副会長を皮切りに会員のコラムを始めます。初回は、濱田栄治副会長のトキの放鳥に向けての話題です。トキが住める地域は、苦勞もあるけど意外にも農業経営にも恩恵が多いと感じます。



<p>水田・水路での江の設置</p>	<p>ふゆみずたんぼの実施</p>
<p>魚道の設置</p>	<p>ビオトープと水田の連結</p>

## トキの放鳥について

石川県能登は本州最後のトキの生息地であり、保護活動に長年尽力されている村本義雄さん(羽咋市)もおられ、トキに大変ゆかりが深い土地であることから、トキを「生物多様性」や「里山保全のシンボル」に位置づけ、これまで国の方針に速やかに呼応し、全国に先駆けていしかわ動物園での分散飼育や公開展示に積極的に取り組んできました。そういった経緯もあり、8月に石川県の能登地域がトキの放鳥候補地に選ばれました。生物多様性や絶滅したトキを復活させ、生態系を元に戻すって素晴らしいという人もいれば、除草剤殺虫剤などの農薬の使用に制限が設けられ、やりにくくなると言う農家もいます。11月8日から10日の間、「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」の佐渡視察があり、保護活動や取り組みを見てきました。



佐渡島の稲作で畦畔除草は、すべて草刈りで除草剤を使っていないことに驚きました。コシヒカリでなく、ほとんどコシヒカリBLが栽培されています。肥料と農薬の50%減栽培です。ネオニコチノイド系農薬使用せず、栽培された米穀で格付け2等以上が主な要件で、買い取り価格は、慣行栽培の1500円UPでした。佐渡島でのトキの保護活動は、農家に保護活動を続ける対価があり、佐渡市民と消費者の協力で年2回の田んぼの生き物調査が佐渡全体で行なわれ、農家、市民、消費者が佐渡の自然環境を共有する場となりました。石川県では、能登地域での4年後の放鳥を目指していますが、一部で餌場を作る事だけでなく能登地域とそ隣接する場所を含む取組が必要になるのではないかと思います。

技術経営委員会 濱田 栄治

本だよりの配布対象  
 会員、賛助会員、アグリサポート  
 会員、各関係機関、会員の皆様へ  
 「いしかわ農業法人だより」の  
 メール配信を希望する方は、協会  
 事務局の吉田・連・工藤までご連絡  
 お願いいたします。  
 吉田：syogo-y@inz.or.jp  
 連：muraji@inz.or.jp  
 工藤：rinkudo@inz.or.jp